

登録コード	A3591314	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	細見 昭	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					専門内容を説明できるようになる		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					専門内容に関する質疑応答ができるようになる		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					専門内容を説明できるようになる		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					専門内容に関する質疑応答ができるようになる		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。							
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。 *最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。							
(7)成績評価の基準	受講態度とプレゼンテーションの改善度合いについて点数化し、以下の基準で5段階評価する。 秀S:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優A:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良B:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可C:授業の達成目標の水準にある 不可D:授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある							
(8)事前事後学習の内容	プレゼンテーションは事前の準備で本番の出来映えが決まる。ゆえに、計画的な事前準備が必要となる。また、発表後は聴講者の意見を聞き改善を試みる必要がある。							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	受講態度（特に準備と質問）及び発表内容を点数化し、以下の基準で5段階評価する。 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 59以下							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける。 E-mail: ahosomi@shinshu-u.ac.jp							
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）							